

Access 小粒な生産管理ソリューション T'sFactory — 所要量計算 —



部品コード	部品名	合計	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
A00001001	BASE-PLATE 1.5	18790	684	926	1112	2468								
A00001201	BASE-PLATE 1.4	440	75	241	124									
A00002001	BASE-PLATE 1.3	390		278	72			1092	776	754	754	754		
A00002001	BASE-PLATE 1.0	110		48	62	10								
A00002201	BASE-PLATE 1.0	2200						10	10					
B00002001	BASE-PLATE 1.0	330												
B00002002	FRING-PLATE	6475	206	268	62				120	140	140	140		
B00002001	FRING-PLATE X	8821	660	526	861	1552								
B00002002	FRING-PLATE X	220		96	124			443	199	171	171	171		
C00001001	TOP-PLATE 1.4	110		48	62	10		610	416	333	333	333		
C00001002	TOP-PLATE 1.0	12150	213	363	1395	3298								
C00001201	TOP-PLATE 1.0	2267												
C00011001	LEG-A	400	300	100	57	180		1080	424	342	342	342		
C00011002	LEG-B	2747	150	330	57	190		124	114	114	114	114		
E00011002	LEG-B	4504	220	170	338	556								
E11111001	SCW 4X10M-1	810	600	210				124	114	114	114	114		
E11111002	SCW MGS-1	4000	3000	1000				750	278	114	114	114		
E11113002	SCW 4X10M-2	2480	150	206	124									
E11113002	SCW 4X10M-6	3007	150	342	305	180								
E12222004	CONNECT-PLATE	3200	6150	2050				94	114	114	114	114		
E12222004	CONNECT-PLATE	2000	1500	500				124	114	114	114	114		
					10	10	10							

- ✔ 生産計画から部品所要量を簡単計算!
- ✔ 部品別・購入先別に集計して帳票出力!
- ✔ 所要量はExcelやCSVにも出力可能!
- ✔ 部品情報はストラクチャ/サマリ形式対応

ある製品を作るためにどんな部品がいくつ必要か、その製品を構成する部品表データに基づいて計算を行うのが「所要量計算」です。その計算結果は、部品の手配や品揃え、工程計画など、生産のさまざまな場面で利用することができます。複雑な親子関係を持った部品から成る製品や多くの種類の部品を使う製品の所要量計算業務を、パソコンを使って効率化・省力化してくれるのが本データベースアプリケーションです。あらかじめ1つの製品を構成する部品表データ（構成や必要数量など）を登録しておくことによって、さまざまな角度からの所要量計算を簡単かつ迅速に行うことができます。

特徴

- 月別・日別の部品所要量を簡単計算
 - 製品の月別生産計画を入力することによって、全製品の月別の使用部品を一度に集計する、月別所要量計算を行うことができます。
 - 製品の日別生産計画を入力することによって、全製品の日別の使用部品を一度に集計する、日別所要量計算を行うことができます。
- 所要量に対するコストの表示
 - 部品ごとの所要量に対して、製造原価（材料費+加工費）を掛け合わせたコストを一覧表示できます。
- 製品単品や Assy の部品所要量を簡単計算
 - ある1つの製品とその生産数量を入力することによって、その製品単品の所要量計算を行うことができます。
 - ある Assy とその生産数量を入力することで、その製作に必要な子部品の所要量計算を行うことができます。
- 所要量計算結果のさまざまな出力
 - いずれの所要量計算の結果も、部品別集計画面として直ちに確認することができます。
 - 計算結果を部品別・購入先別に集計して、帳票に出力したり Excel や CSV ファイルに出力したりできます。
- 階層構造による部品登録
 - 所要量計算の基準となる部品表は、製品と部品、部品と部品の親子関係を階層構造（ストラクチャ形式）で登録することができます。
 - 部品表の階層レベルは最大8まで設定することができます（カスタマイズによっては事実上無制限）。
- 各種マスタ登録と利用
 - 製品や部品、素材、購入先などをマスタ登録しておくことによって、生産計画や部品表に簡単に呼び出して入力することができます。

■ ストラクチャ形式/サマリ形式の両対応

- ストラクチャ形式で入力された部品表データは、ストラクチャ形式/サマリ形式の両方で帳票に出力できます。
- ストラクチャ形式から自動変換されたサマリ形式データを画面上で確認することができます。

■ 図面ファイル等の登録・表示

- 部品表や部品マスタ画面では、部品に関する図面ファイルを呼び出して、CAD ソフトで開くことができます。また図面ファイルだけでなく、Excel 等の関連資料も登録・表示することができます。

■ 類似データの効率的な入力支援

- 部品表の入力に際しては、ある製品の部品表データを別の製品に丸ごとコピーすることができますので、類似製品のデータ入力を大幅に省力化することができます。
- 部品表に登録されたいくつかの部品を Assy データとして登録することによって、さまざまな製品で再利用することができます (Assy データを編集することも可)。

■ Access の基本機能の活用

- すべての帳票はプレビューできます。実際に印刷する前にそのイメージを確認することができます。
- 本アプリケーションは、Microsoft Access で作られています。Access があらかじめ持っているさまざまなデータ操作機能 (コピー、貼り付け、検索、置換、並べ替え、フィルタなど) をそのまま利用できます。
- データベース容量として、最大 2 GB までの情報を 1 つのファイルとして扱うことができます。その範囲であれば、登録件数は無制限、また運用方法やカスタマイズによってはファイルサイズも事実上無制限です。

■ ネットワークによるデータ共有

- データベースをネットワーク上の複数のパソコンから共有することができます (※複数ライセンス要)。
- 保存されたデータは、他の T'sFactory シリーズのアプリケーションと共有することができます。

■ アプリケーションのカスタマイズ

- Access の知識があれば、画面や帳票、機能を自由にカスタマイズすることが可能です (※ソース公開版のみ)。



画面/帳票一覧

画面	メインメニュー、月別生産計画、月別所要量、月別所要量コスト、日別生産計画、日別所要量、日別所要量コスト、単品所要量、Assy 所要量、部品表作成、部品表一覧、サマリ部品表、製品マスタ、部品マスタ、Assy マスタ、素材マスタ、購入先マスタ、リンク先設定、印刷選択、プレビュー選択、ファイル出力選択、各種検索引用
帳票	月別所要量一覧表 (部品別/購入先別)、日別所要量一覧表 (部品別/購入先別)、単品所要量一覧表 (部品別/購入先別)、Assy 所要量一覧表 (部品別/購入先別)、部品表ストラクチャ、部品表サマリ、部品表一覧表、サマリ部品表
出力ファイル	月別所要量 (Excel 形式/CSV 形式)、日別所要量 (Excel 形式/CSV 形式)、単品所要量 (Excel 形式/CSV 形式)、Assy 所要量 (Excel 形式/CSV 形式)



動作環境

- ✓ 本アプリケーションを動作させるためには、Microsoft® Access2010 (もしくは無償のランタイム版) が必要です。



その他の詳細や画面例、「体験版」のダウンロード、価格については下記ホームページをご覧ください

http://factory.tsware.jp/tfctreq_v3/